

福島第一原子力発電所 既設多核種除去設備(C) クロスフローフィルタ二次側出口配管からの漏えいについて

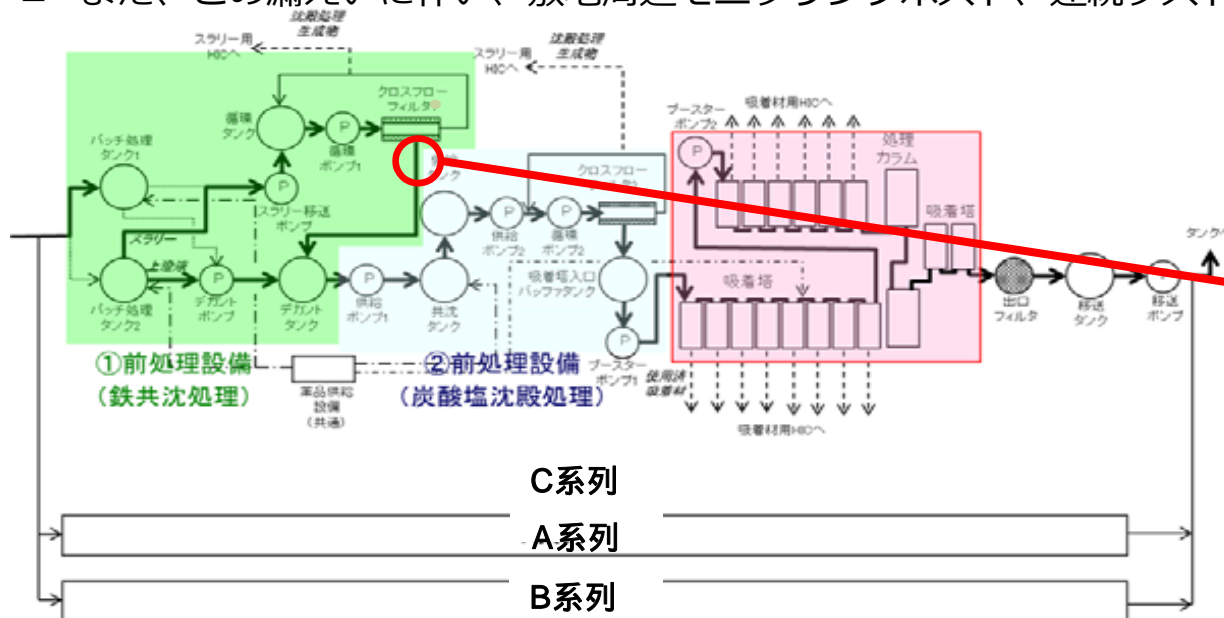
< 参 考 資 料 >
2020年7月9日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 本日（2020年7月9日）午前10時27分頃、協力企業作業員が既設多核種除去設備(C) クロスフローフィルタ2 C二次側出口配管付近で水溜まりを発見しました。
- 既設多核種除去設備(C)については、午前10時35分に停止し、午前10時44分に滴下の停止を確認しました。
- 滴下した水は堰内の受けパン内に留まっており、漏えい箇所にはビニール養生をしました。その後、滴下した水は、拭き取りを完了しております。

※当該系統水の分析結果：全ベータ： 3.32×10^4 Bq/L セシウム134： 8.75×10^1 Bq/L

セシウム137： 1.6×10^3 Bq/L （系統入口部分 6月15日採取）

- 保温材を剥がして確認したところ、二次側出口配管付近にピンホールと思われる貫通部が生じ、そこから滴下が生じたものと考えています。
- また、この漏えいに伴い、敷地周辺モニタリングポスト、連続ダストモニタに有意な変動はありません。



漏えい範囲：
約0.3m×0.1m×深さ1mm（堰内）